

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力	
分野別方針	(10)緑地の保全と緑化の促進		実施計画事業	3)松くい虫被害対策自主事業(No.46)	
予算等事業名	松くい虫被害対策自主事業				
目的	松の枯死の原因となる松くい虫の被害を防止するとともに、抵抗性松の植栽により、松の保全を図る。				
内容	松の枯死の原因となる松くい虫の被害木を駆除し、被害の拡大を防止する。				
根拠法令・条例等	神奈川県松くい虫被害対策事業推進計画 二宮町松くい虫被害対策自主事業地区実施計画				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	町内被害松2本伐倒(山西地内)、樹幹注入による健全松の防除(アンプル数400本・実施松90本) 抵抗性松植栽(10本)				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	抵抗性松の植栽本数				
前期(27年度)目標値	単位:			累計30本	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
	10本			植栽実施場所の減少に伴い、平成19～23年度中に松伐倒実績のある私有地の地権者へ植栽本数希望のアンケートを送付。結果、46本の植栽希望が得られ平成25～29年度中に植栽を予定している。	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,451	1,033				
財源内訳	一般財源	980	347				
	国庫支出金						
	県支出金	471	686				
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 県および町の計画に松の保全が定められているため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 松の適切な保全及び植栽のため、専門業者への委託が必要。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 防除の継続により被害木の本数は減少しており一定の成果を上げている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 県・国の補助活用により町の負担は減っている。薬剤の残効期間を元に防除計画を策定している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 計画に沿った保全、植栽行っており、今後も費用対効果を念頭に置きながら実施していく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹幹注入事業における更なる費用削減に係る検討。</li> <li>・県補助金が廃止(または休止)となった場合の、事業継続について。</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	松の保全を行うためには町が主体となって推進する必要がある。		
今後の方向性	事業を継続するために特定財源の確保を図る。		